

学校名	福島県南会津郡只見町立朝日小学校
授業者	森 大二郎

1. 単元計画

1-1. 単元名

只見町の自然博士になろう

1-2. 学年

第3学年

1-3. 教科

総合的な学習の時間

1-4. 単元の概要

3学年の総合的な学習の時間のテーマは「只見の自然博士になろう」である。

本単元は、自分たちの身の回りに存在する只見の豊かな自然について探究することで、只見の自然環境の素晴らしさや豊かな生態系の維持について理解を深めていく単元である。只見の自然環境の中心は、ブナの天然林であり、世界自然遺産に登録された白神山地よりも広大な面積を誇っている。ブナの実は多くの生き物の食料となり、葉は小さな生き物たちに分解され腐葉土の層を形成し、水を濾過・貯水するはたらきをし、森で蓄えられた栄養が流域の土地や海を豊かにしている。また、先人たちもブナの森の恵みを享受し、森を守り、育て、共に生きてきた。単元を通して、そのブナの森を中心とした只見の自然環境の素晴らしさに気づき、実感することで、只見愛を育成することができる単元である。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

○単元のねらい

只見の自然に直接触れ、体験することで、その素晴らしさや自然環境の変化を知り、大切にしようと思えることができる。

○単元設定の理由

(1) 児童観

昨年度は、生活科の学習で朝日地区の「ひと・もの・こと」に触れてきた。町探検においては、自分たちの地区には町の人のために生き生きと働く人たちの姿を肌で感じ、只見愛を育むことができた。6月に実施したアンケートでも「只見が好き」という児童が全員で、自分の住む町に愛着を感じていることが分かる。

今年度から総合的な学習の時間が始まり、「只見の自然博士になろう」という目標に向かって学習している。子供たちは幼い時から今まで、ずっと只見で生活してきているものの、その自然環境の素晴らしさを必ずしも認識しているわけではない。そのため、恵みの森探検やブナセンター見学、ブナセンター学芸員の方や只見町の自然に詳しい方の話を聞くなどの活動を行い、只見の森には希少な生物がたくさんいることや新種の生物が発見されたことなど、只見の自然の素晴らしさについて少しずつ知識を増やしてきている。

(2) 指導観

子供たちはこれまでに恵みの森探検を行ったり、ブナセンターを見学したり、地域の自然環境に関する講義を聞いたりする活動を通して、少しずつ只見の自然環境についての知識を増やしているものの、その素晴らしさについて実感できている子供は少ない。そこで、本単元ではより一層只見の自然環境について理解を深め、特に多くの生き物の命のよりどころとなっているブナの天然林の素晴らしさに気付かせることが大切であると考え。

本時では、新たな只見の自然環境として下福井観察の森を探検し、発見したことや学んだことを黒板に掲示させ、「動物」「昆虫」「樹木」などに分類整理しながら、只見の自然環境に関する知識の定着を図りたい。その上で、只見の自然環境について2つの森の共通点から、只見の自然の代表といえばブナであることに気付かせたい。その後、ブナが過去に厄介者扱いされていた事実を知り、どうして現在は大切にされているのかという疑問をもたせたい。さらに、ケンタロ・オノさんの講演 VTR で「只見のブナ林が世界を守っている。」と語る様子を見て、解決への意欲を高めたい。


今後、「ブナの天然林の素晴らしさとは何か」という課題を設定させ、ブナの天然林の素晴らしさについて様々な方法で追究させまとめさせたい。そして、只見の自然博士として只見の自然の素晴らしさを発信する機会を設けて表現力を養っていききたい。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

<問題を発見する力>

下福井観察の森で発見したものを分類整理させることで、共通点を見付け易くし、ブナ林への焦点化を図り、ブナを大切にしている理由を考える中で新たな問いをもち、主体的に学ぶ態度を育成したい。

1-7. 単元の展開 (全23時間)

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 ～ 6	<p>○ 只見の森を探検しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下福井観察の森の探検を行い、地域の自然について学び知識を得る。(3)  <p>○ 学習の計画を立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 只見町がブナを大切にしてきた理由を考える中で、疑問をもたせ、学習計画をたてる。(3) (本時2/3) 	<p>地域の自然環境に関する情報を比較して、環境の特徴をとらえることができる。(知識及び技能)</p> <p><言語スキル・数量スキル></p> <p>只見町がブナを大切にしてきた理由を考える中で、問いをもち解決の方法を考えることができる。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p><問題を発見する力></p> <p>只見の自然、資料、学芸員などを活用して、情報を集めることができる。(知識及び技能)</p> <p><言語スキル・数量スキル></p> <p>自分の考えを伝えるとともに友達のを聞き、自分の考えを深めたり、更に活用したりすることができる。(思考力・判断力・表現力等)</p> <p><コラボレーション力></p>

○ 只見の自然をもっと調べよう。

- ・ 新たな問いをもとにブナセンターまたはこれまでに観察した森を再度訪問し、ブナのはたらきについて調べる。(5)
- ・ ゲストティーチャーを招き、話を聞いたり質問をしたりする。(4)
- ・ 本や資料を活用して調べる。(3)

7
～
18



只見の自然，資料，学芸員などを活用して，情報を集めることができる。(知識及び技能)
 <言語スキル・数量スキル>
 集めた情報を分類整理して，必要な情報を選び課題追究に生かすことができる。(思考力・判断力・表現力等)
 <問題を解決する力>
 解決のために，地域の人やゲストティーチャーなどに質問することができる。(学びに向かう力・人間性等)
 <問題を解決する力>

○ 学習したことをまとめよう。

- ・ 学習した内容を模造紙や，レポートにまとめる。(4)
- ・ 学習した内容を共有する。(1)

19
～
23



地域の自然環境に関する情報を比較して，環境の特徴をとらえることができる。(知識及び技能)
 <言語スキル・数量スキル>
 調べたことや考えたことを，自分の言葉で分かりやすく表現できる。(思考力・判断力・表現力等)
 <プレゼンテーション力>



2. 学習活動の実際

2-1. 単元における位置づけ


単元 2 3 時間中の 5 時間目

2-2. 本時の目標

只見の森について話し合うことを通して、さらに調べてみたいことについて考えることができる。

(思考力・判断力・表現力等) <問題を発見する力>

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<p>1 本時のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>只見の森について話し合い、もっと調べてみたいことを考えよう。</p> </div> <p>2 下福井観察の森で発見したものを発表し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下福井の森にもブナがあったよ。 ・ きのがたくさんあったね。どくきのこもあったよね。 ・ わき水が出ていたね。 ・ 赤や黄色の葉っぱがたくさん落ちていて、きれいだったね。 ・ ふじづるは、木にまきついていてへびみたいだったね。 <p>3 只見の森について話し合う。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>(1) 只見町がブナを大切にしている理由を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブナは町の木だから大切にされているんじゃないかな。 ・ ブナは恵みの森にもあったし、只見町にたくさんあるからじゃない。 ・ 絶滅危惧種の生き物もたくさんいるみたいだよね。 ・ ブナの森がないとたくさんの生き物がすみかを失うからだと思う。 	<p>○ 下福井観察の森で発見したものをカードに書いておく。</p> <p>○ カードには発見したものの名前と特徴が伝わる言葉を書いておき、それを伝えながら黒板に貼らせていくことで、子どもたち自らが分類整理できるようにする。</p> <p>○ 子供たちがカードを分類整理する中で、「動物」「植物」「虫」「実」などの見出しをつけさせる。</p> <p>※ 下福井観察の森で発見したものを分類整理させることで、共通点を見付け易くし、ブナ林への焦点化を図る。</p> <p>○ 恵みの森で発見したものを提示しておき、共通点からブナ林へと焦点化を図る。</p> <p>○ 「ぶな退治」や「きへん+無でぶなの漢字になる」ことなど、一時期ブナが厄介者扱いされていた過去を知らせることで、なぜ今は大切にしているのかという問いにつなげられるようにする。</p>

(2) VTRで「只見のブナ林が世界を守っている。」と話す様子を見る。

- ブナ林が世界とつながっているってどういうことかな。
- ブナ林ってそんなにすごいのかな。

(3) ブナについて調べたいと思ったことを話し合う。

- 只見にはブナ林がどれくらいあるのかな。
- ブナ林ってどこがすごいのかな。
- なぜブナ退治が行われたのかな。
- ブナ林はどうやって地球を守っているのか。

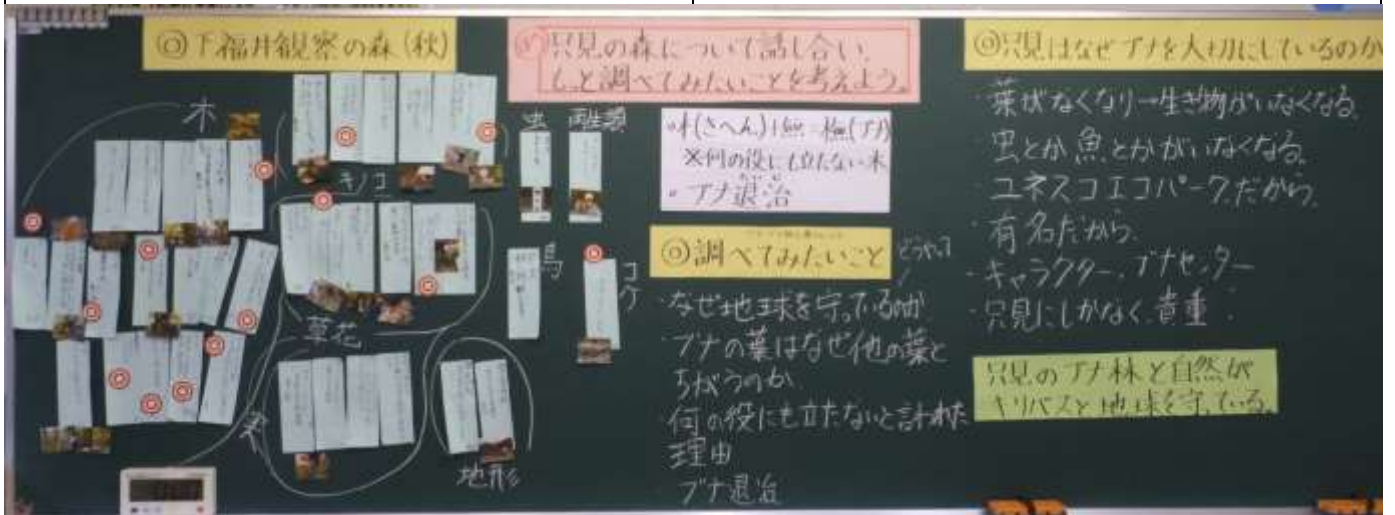
※ ケンタロ・オノさんの講演会のVTRを見せ、新たな視点を与えて疑問をもたせることで、解決への意欲を高める。



- 意見が出ない場合には、グループで話し合わせることで、考えを明確にする。
- ◇ ブナを大切にしている理由を考える中で、新たな問いをもつことができたか。 (発言)
＜問題を発見する力＞

4 次時の活動の見通しをもつ。

- 次時では、ブナ林についての問いを整理し、解決の方法を話し合っていくことを伝える。



3. 今回の活動の自己評価

- 森への探検活動(4回)や地域の資料館での学習活動, 地域人材の活用等, 地域の自然の良さに触れる機会をたくさん設けてきたことで, 児童に只見愛を育むことができた。
- 分類整理して共通点を見つけていく中で, ブナへの焦点化が図られ. スムーズに次の話し合いへとつながることができた。
- 「只見のブナ林が地球を守っている」という3年生には理解が難しい内容をあえてぶつけることで思考が深まり, 世界とのつながりや人間生活との関わりといった新たな視点に気付かせることができた。
- ブナを疎外していた過去もあったが, 今は大切にしているのはなぜかという理由を問うことで, 児童から積極的に意見が出され, 解決意欲を高めることができた。
- 既習事項を踏まえながら, 子供たちが自分の考えを積極的に伝え合うことができていた。

4. 今後の課題

- 本時の目標を考えると, 分類にあまり時間を掛けずに, その後の話し合いにもっと時間を割くべきだった。
- 話し合いの際, 自分の考えを伝えることはできていたが, 友達の考えに対して質問したり, 意見を述べたりする姿があまり見られなかった。活発な話し合いができるよう経験を積ませていく必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

自然と直接ふれ合う機会をできるだけたくさん設け, 児童の興味・関心を高めることが必要である。